



特集

ご自由に
お持ち帰り下さい
Take Free

帝京大学医学部附属病院 静脈瘤センター

Varicose vein Center





printed in japan 本紙掲載の写真・記事の無断転用を禁じます。 Copyright©2019 帝京大学医学部附属病院

Topics & News 帝京大学医学部附属病院からのお知らせ	小児外科	連載 チーム医療	皮膚科	中央検査部	静脈瘤センターの受診から治療まで	セントラル皮膚科	静脈瘤センター	特集 帝京大学医学部附属病院
18	細田利史先生	17	ボランティア	16	田中隆光先生	12	馬杉英男さん	11
	松山悦子さん		深谷早希先生		多田弥生先生	10		08

目次

◎発行年月
2019年6月
◎発行
帝京大学医学部附属病院 総務課広報企画係
◎編集・制作
ビーデザイン

T-me

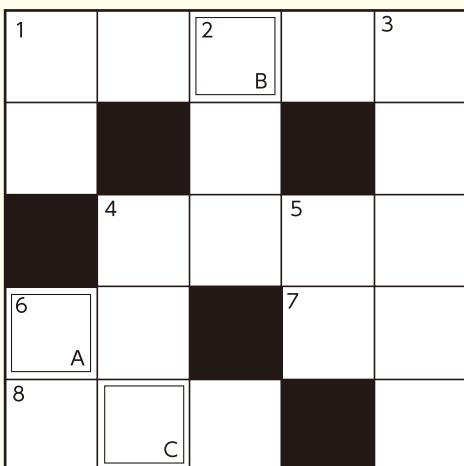
T-me「チーム」は、
帝京大学医学部附属病院と
地域の皆さまをつなぐ院内誌です。
T:Teikyo=帝京大学医学部附属病院の頭文字
me:Medical=地域の皆さまのための医療

また、「チーム」には
医師、看護師、薬剤師、栄養士、
その他病院全てのスタッフが連携して行う
チーム医療の意味も込められています。



クロスワードパズル

二重ワクの中に入る文字をアルファベット順につなげると、医療に関するある単語になります。



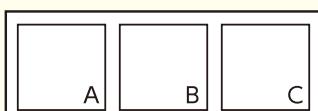
(タテのカギ)

- 1 刺されると大変ですが、花にも人にも役立つ昆虫。
- 2 食器を拭いたりテーブルを拭く布。
- 3 機能が使いやすくなっていること。
- 4 生物が世代を経ていくにつれ変化すること。
- 5 インドの神話では世界を支える存在とされた鼻の長い動物。
- 6 王や将軍など高い身分の人の娘。

(ヨコのカギ)

- 1 風に舞う花びらを雪にたとえて。
- 4 足は第二の○○○○。
- 6 優雅で洗練された人や物のことを「○○がある」と言います。
- 7 若いうちに鍛えろ、「鉄は熱いうちに○○」。
- 8 わかめの一部、ねばり気があります。

(答えはP.19)



特集

帝京大学医学部附属病院 静脈瘤センター

足の血管がボコボコと膨らむ

「下肢静脈瘤」の症状に

気がついたことはありませんか？

「下肢静脈瘤」は、

日本では45歳以上の

約2割の方に

症状があるといわれています。



下肢静脈瘤を知っていますか？



足の血管が膨らんで、コブのようになる病気です。

「足は第一の心臓」といわれているように、

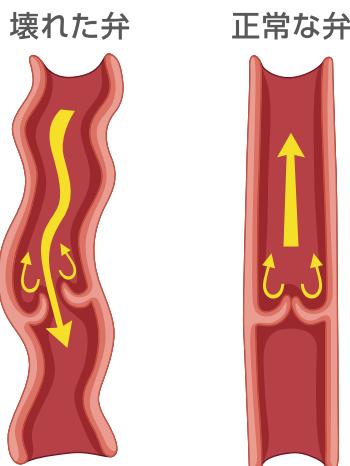
ふくらはぎには心臓のようにポンプ作用があり
血液を心臓に送り返す機能を持っています。

足の血液は重力に逆らって戻るため、

逆流しないよう血管内に弁がついています。

下肢静脈瘤は、その弁が壊れて

足の血液が心臓に戻りづらくなることで発症します。



静脈が太くなり
湾曲する

下肢静脈瘤の症状

潰瘍						
色素沈着						
かゆみ、湿疹						
むずむず感、不快感						
ほてり						
つる(い)むり返り						
むくむ						

※下肢静脈瘤以外の病気の可能性がある症状

足の冷え／階段がつらい／正座ができない

歩くとふくらはぎがだるい／足のしびれ

冬になると足がかゆい など

下肢静脈瘤の種類

静脈瘤は医師の視診により、
血管の太さによって

くもの巣状

・網目状

・側枝型

・伏在型

の4種類に分類されます。

中でも手術が必要になるのが

伏在型静脈瘤です。



網目状



径2～3mm程度の静脈瘤で、
網の目状の広がりを示すことから
こう呼ばれます。

くもの巣状



足に無数の血管が透けて見えるタイプ。
毛細血管の弁が壊れることで起ります。

伏在型



悪化して静脈のこぶが大きくなり、
盛り上がります。
この場合は手術が必要になります。

側枝型



太い静脈の枝の部分が、
部分的に弁が壊れて血液がたまり
拡張してできたもの。

下肢静脈瘤には、

「なりやすい方」と
「なりにくい方」がいます。

あまり知られていませんが、

実は静脈瘤は患者数の多い病気です。

日本では45歳以上の約2割

(女性で24・4%、男性で12・4%)、

症状の軽いものを含めると4～5割、

患者数は1千万人以上いるといわれています。

下肢静脈瘤は女性が男性よりやや多く、妊娠・出産が発症のきっかけになることが多いのが特徴の一つです。また、長時間立ちっぱなしの仕事をしている方、運動不足の方、肥満(気味)の方も注意が必要です。

あくまでも「なりやすい」傾向があるというだけで、必ずしも静脈瘤ができるわけではありません。この他に、静脈瘤がある方が家族にいるなどの遺伝的要因も大きいようです。

女性



妊娠・出産を経験した方

足は第2の心臓とも呼ばれるように、ふくらはぎの筋ポンプは足の血液が心臓に戻る際のサブポンプとして働きます。男性に比べて筋力の弱い女性は、下肢静脈瘤を発症する人が多いことが分かっています。

立ち仕事の方



妊娠すると分泌される黄体ホルモンには血管を硬くする作用があり、静脈弁の働きに悪影響を及ぼします。また大きくなった子宮が脚のつけ根の静脈を圧迫し、弁に負担がかかり壊れることが原因と考えられています。

一日のほとんどを立ちっぱなしでお仕事をしている方にも多く発症します。調理師、教師、美容師といった職業に下肢静脈瘤が多くみられます。同じように、一ヵ所に座りっぱなしの方にも静脈瘤発生のリスクがあります。



運動不足の方、肥満の方

運動不足で筋力がなくなるとふくらはぎの筋ポンプ作用の働きが悪くなるので、下肢静脈瘤の原因になります。肥満も足の血流を悪くする原因で、肥満になることによって更に運動が面倒になるという悪循環に陥りがちです。

加齢により血管が弱くなつて弁が壊れやすくなるため、発生頻度が高くなるといわれています。また女性ホルモンには血管を拡張したり血液を固める働きがあるので、加齢により女性ホルモンが低下すると下肢静脈瘤の原因になります。

予防いろいろ

◆ドロドロ血液にしないために

- ・水分を充分に取る
- ・バランスのとれた食事を取る

◆ふくらはぎの筋ポンプを鍛えるために

- ・適度な運動を習慣にする
- ・太らないよう気をつける

◆血流アップのために

- ・狭いところでじっとすることを避ける
- ・深呼吸する

ふくらはぎの筋ポンプ作用を促す体操

立ち仕事が続いた日は、入浴後に念入りに行うのがおすすめです。

◆つま先立ち

足を肩幅くらいに開いて、背筋を伸ばして立ちます。両手で手すりなどをつかみ、ゆっくりと両足のかかとを上げ下げします。辛い場合は、椅子に座って上げ下げしても可。

◆足首ぐるぐる

仰向けに寝て両足を伸ばし、かかとは床につけたまま、つま先をゆっくり前後に各10回ほど動かします。次にかかとを起点に、つま先を右回りにぐるぐる10回ほど回し、同様に左回りも行います。

◆手足ぶるぶる

仰向けに寝て、力を抜きます。両手両脚を上にあげ、1分ほどぶるぶると小刻みに振るわせます。心臓への血液の戻りを助けます。脚を高く上げるのが大変な場合は、無理のない範囲で行いましょう。



さまざまなかたちの患者さんを 協力して診る静脈瘤センター

—2017年12月、帝京大学医学部附属病院に静脈瘤センターが院内標榜されました。静脈瘤とはどのような病気なのか、センター長の多田弥生先生におうかがいします。

「静脈内には、血液の逆流を防ぐための弁(静脈弁)があります。筋肉が収縮して血液が流れると弁が開いて、筋肉が弛緩すると弁が閉じます。その弁が壊れると、血液が逆流して下肢にたまってしまいます。その状態が長年続くと血管が太くなり、外から見て分かるようになります。

中高年の15%程度にあるといわれているほど、下肢静脈瘤は身近な疾患です。血管が浮き出て見えることで気がつかれる方が多いのですが、足のむくみやだるさ、潰瘍などのトラブルも静脈瘤に起因することがあります。その場合、下肢に静脈瘤が潜んでいるかどうかを調べて治療しないと根本的な治癒につながりません」

手術ができるようになったことが
静脈瘤センター構想スタートの一歩でした

—静脈瘤センター設立のきっかけを教えてください。

「私は2013年より帝京大学医学部附属病院に勤務していますが、そ

の頃は静脈瘤の手術を行つておらず、手術の必要な患者さんには他の病院をご紹介せざるを得ませんでした。現在は手術

ができる医師が2名(田中隆光医師、深谷早希医師)おりますので、相当数の患者さんがわざわざ別の病院に行かずに済むというメリットがあります。検査から手術まで、静脈瘤に関する全ての面で対応できる体制が整いましたので、静脈瘤センターの構想が始まりました」

—静脈瘤センターの理念を教えてください。

「下肢のトラブルでお困りの患者さんのお役に立ちたいというのが第一の理念です。問題が皮膚にあるのか、静脈瘤にあるのか、または動脈にあるのか。どのようなパターンであっても対応します」

—静脈瘤センターではどのような協力体制で診断や治療が行われていますか?

「自覚症状があればお近くの皮膚科に行かれる方が多いと思いますが、そちらの先生が通常の治療だけ

多田 弥生先生
Tada Yayoi
皮膚科
皮膚科学講座・主任教授

1995年 東京大学医学部医学科卒業
同年 東京大学医学部皮膚科入局
2002年 米国国立衛生研究所(NIH)皮膚科留学(研究員)
2005年 帝京大学医学部皮膚科・助手
2006年 東京大学医学部皮膚科・助手
2008年 東京大学医学部皮膚科・講師
2011年 立正佼成会附属佼成病院皮膚科・部長
2013年 帝京大学医学部皮膚科学講座・准教授
2017年 帝京大学医学部皮膚科学講座・主任教授



ではよくならないと判断すれば当院に紹介状を書いてくださいます。

まず皮膚科で問診、視診、触診を行い、静脈瘤の疑いがあるけれど見た目でわからない場合には超音波検査が必要になります。当院の中央検

査部には超音波検査の得意な検査技師がおりますので、信頼してお任せしていただけます。

また皮膚科以外での治療が必要になる場合があります。動脈系のトラブルが背景にあれば循環器内科に診ていただきますし、手術に伴う合併症が起こった場合には循環器内科や心臓血管外科の協力を仰ぎ、必要な処置を施していただきます」

— 静脈瘤センターの自慢できるところを教えてください。

「静脈瘤の治療を専門に行っている手術もできる皮膚科は都内にも何ヵ所かあります。検査の結果、静脈瘤ではないという診断が下りた場合に『静脈瘤ではないのでは、こちらでは治療の適用になりません』と治療を終了してしまうことがあるようですね。当院では、静脈瘤がなかった場合でも対処できるのがひとつ強みです。

やる気があふれたエキスパートが揃っているので、チームで連携を取つて治療を進めていきます

患者さんが今お困りになつている原因を探つて、皮膚科の領域であればきちんと治療しますし、皮膚科以外の疾患が原因であればその科に紹介して治療に繋げます」



「また、当院の特徴のひとつとして、さまざまな科の連携がうまく取れています。一人の患者さんと一緒に見ると、意識の高い医師やスタッフと協力して、チームで治療を進めています。私たち皮膚科だけではなく回りません。静脈瘤センターができる前からそれは変わりませんが、チームを形成しているひとりひとりが素晴らしいと思います。

静脈瘤センターが開設されたことで患者さんが増え、連携がより強固になりました。他科の医師と勉強会なども行い、お互いにどのような患者さんを診て居るのか、どのような治療をして居るのかなどとよく見えるようになってきています」

— 今後の目標や展望を教えてください。

「当院は大学病院として、地域の病院と協力して患者さんを治療していく『地域医療連携』に重きを置いています。地域の病院の先生がお困りの症例があれば、できるだけお力になりたいと常に考えています」

— 静脈瘤センターができたことで強みがひとつ増えましたね。今後も地域の先生方や患者さんの助けとなる存在であつてほしいです。

静脈瘤センターの受診から治療まで

静脈瘤治療のアプローチは患者さんによってさまざまですが、受診から治療までの代表的な流れをご紹介します。

1 初回の受診

問診

多くの場合は地域の病院にご紹介いただきてから初診に入ります。

問診票に記入された内容を元に、皮膚科の医師がお話をうかがいます。症状のほか、お仕事や生活習慣もお聞きします。

視診

下肢静脈瘤の場所や膨らみ具合、むくみや皮膚の変色があるかどうかなどを医師が目で確認します。

医師が足を触って、むくみの有無や皮膚の厚さや硬さ、押して痛みがあるかどうかなどを確認します。



2回目の受診

超音波検査

外見からではわからない静脈の状態を確認するために検査技師が超音波検査を行います。

痛みなどはなく、20分から30分ほどで終了します。



3回目の受診

静脈瘤センターで診断

静脈瘤と診断されれば、治療方針を決定します。
静脈瘤がなかつた場合には、症状の原因を探るためのアプローチを行います。



それぞれの
症状に合わせた
治療が始まります。



難易度の高い超音波検査

——臨床検査技師が高い専門性を活かして質の高い検査情報を提供している中央検査部。その中でも馬杉英男さんは血管、腹部、乳腺などを調べる超音波検査のエキスパートです。静脈瘤センターではどのようなお仕事をされていますか？

「静脈瘤と診断された患者さんや静脈瘤を疑っている患者さんに 대해、超音波検査を行っています。静脈瘤は見た目にわかるものだけとは限りません。潜在的な静脈瘤があるかどうか、または今後静脈瘤ができる可能性がある患者さんに静脈弁の不全があるかどうか、こぶがあるかどうか等を、断層面を見て診断します。まだ静脈瘤がない方でも、弁の損傷が見受けられるとリスクが高いといえます。予防が必要な状態かどうか分かるので、その点でも有意義な検査です」

——検査される上で、一番気をつけていることは何でしようか？

「超音波検査は、患者さんに痛みや苦痛を与えることのない検査です。ですが静脈瘤と同時に深部静脈血栓症の有無も見る必要があるために所要時間が通常の検査より長く、20～30分ほどかかることがあります。特に高齢の方は疲れてしまうと思いますので、正確さは保ちつつ迅速に検査をするよう気をつけています。

検査が終わった後に患者さんから『ありがとうございます』と言われ

ことがあります。本来はこちらがありがとうございましたと言ふ立場なのに、患者

さんの方から言つていただけだと検査技師冥利に尽きます」

——今後の目標を教えてください。

「若い技師を後継者として育てる」とです。静脈瘤の超音波検査は他の検査よりも難易度が高いので、地道に教え、一日も早く立派な検査技師になつてもらいたいです」

——静脈瘤センターができて一番よかつたことは何でしようか？

「センターができるまでは静脈瘤の検査依頼が来ることはまれで、他の病院で治療されていた方が多かったと思いますが、今は多くの患者さんが検査にいらっしゃいます。

私たち検査技師は、経験を積まないとスキルを上げられません。検査を数多くすることは正確で迅速な検査にもつながります。その意味でも、センターができたことは検査技師にとってありがたいことです」



馬杉 英男さん
Masugi Hideo
中央検査部

1989年 帝京大学病院中央検査部に入職
2000年より超音波検査に従事
主な資格
超音波検査士、血管診療技師(CVT)



皆さまのQOL向上のために 静脈瘤の根本的な治療を目指しています

— 静脈瘤センターの副センター長、田中隆光先生と深谷早希先生。静脈瘤センターの立ち上げに大きな役割を果たしたとうかがいました。

田中「以前から静脈瘤の勉強会などに行き、指導医の資格を取ったので静脈瘤センターの立ち上げをメインで担当しました。機械や装置など完璧に揃えてから始めたとは言えませんが、徐々に軌道に乗ってきます。機材を揃えたりスタッフを教育するのは苦労もありますが、さまざまな部署や診療科と連携を取りながらがんばっています」

深谷「静脈瘤センターでは、多くの場合スムーズに治療が進み、皮膚科だけで完結することになります。万が一の副作用が起こった時のために心臓血管外科と循環器内科にバックアップしていただいています。」

足の不調の原因が静脈瘤でなくとも
その原因を追及して治療につなげます

— 静脈瘤センターでは、どのように診断・治療を行っていますか？

田中「地域の病院から静脈瘤の疑いがある方が皮膚科の静脈瘤センターに紹介されます。問診、視診、触診の後に超音波検査があり、結果の程度や症状によって、どのような治療が必要なのか、手術適応があるのかどう



深谷 早希先生

Fukaya Saki

皮膚科 臨床助手

・日本皮膚科学会 専門医

・日本静脈学会

(血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会)実施医



田中 隆光先生

Tanaka Takamitsu

皮膚科 助教

・日本皮膚科学会専門医・指導医

・日本静脈学会

(血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会)指導医

うか、また静脈瘤以外の疾患が疑われるのであれば何が考えられるのかを一緒に探っていきます」

深谷「静脈瘤の症状として知られているものは、足の血管が浮き出て見えること、またふくらはぎのだるさやむくみも上げられます。重い症状としては『うつ滯性皮膚炎』があり、これは下肢の循環障害によって主に膝から下に生じる皮膚の炎症で、赤みやかゆみ、色素沈着、びらん・潰瘍を生じることもあります。表面に目を向けているだけでは不十分で、根本的な治療が必要です」

田中「基本的には私と深谷先生が協力して診断が合っているかを確認し、静脈瘤の手術が安全に行えるよう心がけて毎日の診療と治療を行っています」

——だるい、むくみ、こむらがえりなどの症状は静脈瘤以外でも起こるそうですが、どのような疾患が考えられますか？

深谷「むくみは心臓、腎臓、肝臓、肺など内科の疾患から来ることが多いですが、その他にも栄養不足などさまざまな要因が考えられます。立ち仕事の方や、またりんパ浮腫といつて、手術後等でむくみが出ることもありますし、こむらがえりはカリウムなどのミネラル不足で出ることがあります



す。原因によって治療方針も変わります」
田中「足の潰瘍も必ずしも静脈瘤性とは限らず、血管炎ができる方もいらっしゃいます。内科の疾患が疑われば内科に、リンパ浮腫であれば形成外科に、また閉塞性動脈硬化症や糖尿病が原因の動脈性の循環不全があれば循環器内科、心臓血管外科など他科と連携しながら治療します」

静脈瘤のタイプや症状の程度により 治療法は異なります

——治療にはどのようなものがありますか？

深谷「症状が軽めの方は弾力性のある弹性ストッキングで圧迫療法を行います。着用して締めつけることにより、下肢の静脈還流を改善する効果が期待できます。圧力の強弱やサイズには種類があるので、その方の体型や症状にあったものをご紹介しています」
田中「治療のためにはしっかりと圧迫することが大切なのですが、患者さんに徹底していただくのは大変だと思います。弹性ストッキングを履く時には握力や引っ張る力がいるので、特に高齢の方には難しく感じられることが多いようです。履いてしまえば苦しくないのですが、履くコツをつかむまで何分もかかる方もいらっしゃいます。一日たまると潰瘍が大きくなることもありますので、弹性ストッキングの重要性をきちんとお話ししていく理解していただこう努めています」

深谷「伏在型静脈瘤の方は手術が必要になります。静脈の中に極細のカテーテルを通して、レーザーで血管内の壁を焼いて下肢静脈瘤をふさぐ血

管内焼灼術と、静脈瘤の血管を体から引き抜くストリッピング手術があり、その方に合った手術法をご提案しています」

——「番気をつけていることは何でじょうか?」

田中「静脈瘤は危険な病気ではないので、治療も安全性に気をつけています。合併症として起こりうる肺梗塞は、足の静脈内でできた血栓が肺の血管内に詰まり、呼吸困難を起こす病気です。お聞きになつたことがあるかと思いますが、近年問題になつて『エコノミークラス症候群』やこのひとつです。超音波検査で血栓ができるいかを確認し、予防に努めています。血栓ができていれば、血栓を溶かす薬を投与したり、また循環器内科の協力を仰いで治療に当たります。もし肺梗塞を起こしてしまつたら、心臓血管外科と協力して治療に当たります。

あとは、やはり皮膚科医としては見た目を綺麗に治すことも大切に考えております」

患者さんのQO-「(クオリティー・オブ・ライフ)改善が何よりの喜びとなりがいになります

——「静脈瘤センターでうれしかったことはなにがありますか?」

田中「手術すると、長年に渡って治りが悪かった傷がすぐよくなるケ

では少し時間がかかります
が、ストッキングやスカートなど考えられなかつた方が、履いて外出してみようかなと言つてゐるのを聞くとや

りがいを感じます」

——多くの患者さんの症状が改善しているのですね。

田中「静脈瘤センターは開設されたばかりですが、たくさんの患者さんに来ていただいている。医師、外来や病棟の看護師、検査技師のみな

さんなど多くのスタッフの協力があつてこそだと思います。

手術室にラジオ波など新しい機器が増えると、その分勉強しなければいけないこともあります。スムーズな治療のために今後ともご協力ををお願いしたいです」



スも多く、患者さんに喜んでいただけると、ちらもうれしいです。糖尿病の潰瘍は痛くない方もいらっしゃいますが、静脈性の潰瘍は痛みを伴います。痛みがあると、靴下を普通に履くといつた日常の動作にも支障が出るので、そこが解消されることによつてQO-「(クオリティー・オブ・ライフ)の質が上がりま

深谷「傷跡が完全に消えるまでは少し時間がかかります
が、ストッキングやスカートなど考えられなかつた方が、履いて外出してみようかなと言つてゐるのを聞くとや
りがいを感じます」

——「多くの患者さんの症状が改善しているのですね。
田中「静脈瘤センターは開設されたばかりですが、たくさんの患者さんに来ていただいている。医師、外来や病棟の看護師、検査技師のみなさんなど多くのスタッフの協力があつてこそだと思います。
手術室にラジオ波など新しい機器が増えると、その分勉強しなければいけないこともあります。スムーズな治療のために今後ともご協力ををお願いしたいです」

田中「足のだるさやむくみなどにお困りでしたら、原因は静脈瘤かもしれません。静脈瘤ではなかつた場合でも、お困りの原因を探して治療に繋げます」

田中「当院の皮膚科に静脈瘤センターがあるメリットとしては、他の病気の可能性が示唆できるところが上げられると思います。10人に1人が患者だと言わわれているほど身近な病気ですが、足のだるさやむくみ、こ

むらがえりの原因が静脈瘤だと気付いてない方も多いです。他のさまざまな疾患で出てくる症状もあるので必ずしも静脈瘤が原因とは限りませんが、下記のチェックリストでいくつか当てはまつたり気になる時は、「ぜひ皮膚科を受診してください」

—足の不調は静脈瘤から来る場合も多いですね。皆さんも、何か気になることがあればぜひ皮膚科を受診してください。



下肢静脈瘤チェックリスト

この中に当てはまる症状があつたら、
下肢静脈瘤かもしれません。

- 足がむくみやすい
- 足がだるい・疲れやすい
- 足の血管が青い網目のように浮き出ている
- 足の血管が「コブ」のようにボコボコと浮き出ている
- 足がつる・夜中にこむら返りがある
- 足に湿疹・かゆみがある
- 運動不足である
- 仕事で長時間立っていることが多い
- デスクワークが多く、あまり動かない
- 妊娠、出産したことがある
- 親族に下肢静脈瘤の人がある

優しい手で患者さんを癒す、リフレクソロジー

病院ボランティア 松山悦子さん



1999年(株)ホスピタリティ入社。
同年日本リフレクソロジスト養成学院にてリフレクソロジー講師及び学院直営サロン統括マネージャー就任。2016年より日本リフレクソロジスト養成学院学院長。

日本リフレクソロジスト養成学院

【REFLEリフレ】

www.refle.co.jp

— 帝京大学医学部附属病院でボランティアに携わっている松山悦子さん。どのような活動をされているのでしょうか？

「がんの辛さをやわらげる『緩和ケアチーム』の一員として、患者さんに『リフレクソロジー』の施術をおこなっています。足や手など体の末端に全身が映しだされると考え、優しい手で包み込むように刺激をすることで、体と心を深く癒すセラピーです。私が勤める(株)ホスピタリティは『日本リフレクソロジスト養成学院』を運営しており、その技術を提供する直営店『REFLE』も展開しています。そこに来店された帝京大学の先生から声を掛けさせていただいたのがきっかけで、2008年5月より帝京での活動をスタートいたしました」

— ケアはどのようにされていますか？

「当学院では、現在50～60名の卒業生有志が全国

17カ所のホスピスや緩和ケア病棟で、年間延べ8千人の患者さんに対してもリフレクソロジーの施術を行っています。通常他の病院ではリフレクソロジスト(施術者)が一人で病室に伺いますが、帝京では緩和ケアチームの看護師さんが同行されて、患者さんは施術の間ずっと看護師さんとお話をされています。施術によってリラックスされると、ふだん口にされない不安や本音を伝えられる」ともあるうえで、看護師さんにとつても有意義な時間になっています。

緩和ケアチームのスタッフの皆さんには心遣いがきめ細やかで、患者さんのQOLを高めていこうという思いは、ボランティアの私たちにも強く感じられます」

— 気をつけていることがありますか？

「健康な方と違つて体にお痛みがありますので、その方にとつて一番楽な態勢で施術するよう気をつけています。そして、たとえ一瞬でも『気持ちいい』と感じていただけるよう、患者さんの状態に合わせた施術を心がけています」

— ボランティアをしていてよかつたと思うことがありますか？

「施術を受けた患者さん達の表情が穏やかになつたり、声が明るくなる、などの変化を目の当たりにする度にうれしくなります。先ほどまで辛そうだった方が、施術が終わつた瞬間に片腕を上げて大きい声で『最高！』とおっしゃつて下さったこともあります」

私たちが目指すリフレクソロジーは、単なるリラクセーションとしてだけではなく『病』と闘う患者様の辛い症状を少しでも和らげる『補完セラピー』として医療・介護の現場で施術をさせていただくことです。今後も医療に寄り添うリフレクソロジーの良さを、もっと伝えていきたいですね」

MY FAVORITE

チワワビションフリーゼのミックスを飼っています。大きな耳がチャームポイントのこの子の名前は、ハワイの言葉で家族を意味するオハナ。小さい割にパワフルなので、散歩には2時間近くかけています。



子どもの健康を願い、あらゆる手術を行う小児外科

小児外科 細田 利史先生

— 小児外科とはどういう科なのでしょうか？

「新生児から15歳までのお子さんの手術を行う科です。消化器系、腎臓、婦人科系などあらゆる臓器を扱っており、中でも多いのは『鼠径ヘルニア』や『臍ヘルニア』、『停留精巣』などです。

単純な骨折は小児外科ではなく整形外科が診ます。脳の手術は脳神経外科、心臓は心臓血管外科で、また耳鼻科、眼科も小児外科の領域ではなく、専門の科で治療を行います。

— 生まれる前から手術が必要かどうかわかるのでどうか？

「胎児をエコーで見る出生前診断で、産婦人科医

細田 利史先生(右)
Hosoda Toshifumi

2001年 日本大学医学部卒業
2004年 日本大学附属病院小児外科
2014年 帝京大学附属病院小児外科
2017年 同 講師
資格:日本外科学会専門医
日本小児外科学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医



が診断します。生まれてから分かるものもあり、いつどんな疾患の子どもが生まれるか予測できない

ので、その都度対応しています。400gの赤ちゃんを手術したこともあり、日々プレッシャーを感じますが、小児外科ならではのやりがいと醍醐味だと思います。

現在小児外科医は私含め2人、年間約150件の手術を行っています。あらゆる臓器に関わるので、小児外科だけで治療を完結することはありません。例えば呼吸器の先生は、やはり私たちより呼吸器に関する知識も技術も経験も上回っているので、教わりながら治療を進めてい

ます。さまざまの方の協力があつて成り立つ科ですので、常に感謝の気持ちを持っています」

— 大人と違つて、小さなお子様相手の治療では困ることもあるのではないのでしょうか？

「『言う』ことを聞いてくれないと無理やり押さえつけることはしないよう心がけています。3歳くらいになると、きちんと話をするとなじみます。お子さんと話すと納得してくれる子もいるので、彼らの年齢なりの理解を得てから治療にのぞむようにしています。

小児ならではの疾患で手術されるとそのフォ

ローは大人の外科ではできないので、15歳を超えて40歳になつても小児外科で診察を受ける方もいらっしゃいます」

— 最も気をつけていることは何ですか？

「幼い時の手術の傷跡は消えにくく、一生その傷と付き合っていくことになるので、なるべく小さく目立たない、綺麗な傷にするということを一番に心がけています。そのためにおへそなど傷が目立たないところから器具を入れる腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいます」

— 小児外科医とはどんな存在ですか？

「手塚治虫が描いた『ララックジャック』は、どんな人のどんな疾患でも手術できますよね。一番近いのが小児外科医だと自信を持っています」

— 今後の目標を教えてください。

「小児外科という科はあまり認知されておらず、この地域でも『帝京大学医学部附属病院に小児外科がある』ということ自体ご存じない方が多いと思います。もっとアピールして、小児外科の認知度を上げていくのが今後の目標です」

帝京大学医学部附属病院からのお知らせ

地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定を受けました

当院は2008年2月8日以降、地域がん診療連携拠点病院として地域がん診療の中核を担つて参りましたが、この度、2019年4月1日付で地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定を受けました。

従来、全国の地域がん診療連携拠点病院は国が定めた一律の診療基準を満たすことを求められてきました。しかしながら、各拠点病院間で診療実績や体制に大きなバラつきがあることが課題となっていました。

そのような折、2019年4月1日からは、全国に339施設ある地域がん診療連携拠点病院が、刷新された指定要件に基づき14施設からなる「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」と325施設からなる「地域がん診療連携拠点病院」に再分類されました。

「高度型」は、高度ながん診療を提供し、診療実績が優れているだけではなく、高度な放射線治療、緩和ケア、医療安全などが求められています。

帝京大学医学部附属病院は、全国14施設(東京都では4施設)

の1施設として「高度型」に指定を受けたことの重責を全う

するべく、今後も地域がん診療への更なる貢献を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

詳しくは次号で特集します。



ロビーコンサート開催のお知らせ

当院では年3回の予定で、1階のロビーユニットストリートにてロビーコンサートを開催しております。病と闘っている患者さんを励ましたいと、学生さんや職員、時にはプロの方がボランティアで四季折々の演奏や歌声を披露してくれます。

今回は東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校COM BIGBAND TOKYOの皆さんによるアンサンブル形態でクラシック、アーメ、懐メロを演奏してください。

くれました。

不定期の開催となるため、詳細につきましては当院のホームページまたは院内掲示で発表いたします。素敵な演奏をお楽しみください。



東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校COM BIGBAND TOKYOの皆さんによるアンサンブルコンサート(2019.3.16)

医療についての知識を深める動画サイト

「帝京メディカル」

帝京大学医学部附属病院では、当院の医師が専門分野の疾患や治療方法について、詳しく解説する動画サイト「帝京メディカル」を作っています。

「帝京メディカル」は、病気の症状や予防法、最新の検査や治疗方法についてポイントを絞り、簡潔に7分～8分にまとめています。

「帝京メディカル」の各コンテンツは

帝京大学医学部附属病院のご案内」→「帝京メディカル」

より閲覧できます。ぜひご覧ください。

■ 乳がん～治療と乳房の再建方法～	外科 教授 神野 浩光 形成外科 講師 堂後 京子
■ 下肢静脈瘤～皮膚科で行う血管内治療	皮膚科 助教 田中 隆光 臨床助手 深谷 早希
■ 糖尿病～自己管理と血糖コントロール～	内科 主任教授 塚本 和久
■ 脳卒中～FASTを覚えて早期治療を～	脳神経外科 病院教授 大井川 秀聰 講師 伊藤 明博
■ 前立腺がん～急増している男性の病気～	泌尿器科 主任教授 中川 徹
■ IVR～放射線技術の治療的応用～	放射線科 教授 近藤 浩史 放射線科 講師 山本 真由
■ 輸血～安全で適正な血液管理～	輸血部 講師 松本 謙介 認定輸血検査技師 前島 理恵子

ボランティア募集のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では、ボランティア活動をしていただける方、または団体を随時募集しております。活動内容や活動時間はご相談下さい。

◎資格や経験は問わず、心身ともに健康な方

◎人を思いやる温かい心をお持ちの方

◎病院で知り得た個人的な情報を他人に漏らさないことを守れる方

【活動内容】

- 外来手続き、検査受付案内
- 自動支払機案内
- 患者交流スペース『陽だまり』での活動
- 患者向け冊子の整理
- 各種催し(イベント)
- 車いす介助

【活動日・活動時間】

- 平日 9時から16時
 - 土曜日 9時から12時
- 週1回2時間以上、若しくは、月に2～3回程度継続して活動できる方を希望します。無理のない範囲でご相談の上お願いしております。

【お申込み・問い合わせ】

病院指定の「ボランティア申込書」がございます。左記にご連絡いただきお取り寄せいただきますようお願いいたします。「ボランティア申込書」に必要事項を記載し、病院1階15番・患者相談室にご持参または、ご郵送下さい。後日、「コーディネータよりご連絡差し上げ面接を行います。活動が決まりましたら、健康診断書の提出が必要となります。

帝京大学医学部附属病院
患者相談室 病院1階 15番窓口
電話：03（3964）1211（代表）



P.2
クロスワードの
答え





帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1

TEL.03-3964-1211(代表)

<http://www.teikyo-hospital.jp/>

院内誌についてのお問い合わせ先 _____

帝京大学医学部附属病院 広報委員会

E-mail:kohoiin@med.teikyo-u.ac.jp